

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件名 東京国際空港人工地盤整備に伴う火災シミュレーション業務

開札年月日 令和5年7月25日（落札決定日 令和5年8月4日）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥12,100,000 -

落札者 株式会社エコープラン

予定価格 ￥15,356,000 -

積算額 ￥15,356,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥13,960,000 -

調査基準価格 ￥12,223,019 - 調査基準価格の100/110 ￥11,111,836 -

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
株式会社エコープラン	11,000,000		第1回 落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

業 務 名 : 東京国際空港人工地盤整備に伴う火災シミュレーション業務

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社エコープラン 東京都豊島区南大塚2-32-2

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	<p>・本業務の遂行にあたり、道路トンネルにおける3次元火災シミュレーション及び避難環境の評価、トンネル非常用設備設計業務の豊富な経験と実績及び保有するノウハウの活用による効率的な業務の遂行が可能としている。</p> <p>・入札価格については、過去の同種業務（道路トンネル付帯設備検討）の経験を基に見積を行っている。打合せ（本業務仕様書では「協議報告」）は、他発注者における技術者構成を参考に本業務仕様書の所定回数分を計上している。その他原価は直接人件費に対して$\alpha = 35\%$として計上、一般管理費は業務原価に対して$\beta = 35\%$として計上を行っている。なお、一般管理費については応札者の計上手法として、応札金額が100万円単位とするため100万円未満部分を低減している。</p> <p>・品質確保について、経験豊富な技術者を本業務のために配置し、業務の段階毎にレビュー、チェックを実施することで高品質な成果を提供可能としている。</p> <p>以上、応札者が持つノウハウの活用による効率化、経験豊富な技術者の配置、品質管理活動を考慮して、今回の入札価格設定を行っている。</p>
② 配置予定の技術者その他当該契約の履行体制	<p>配置予定技術者については、管理技術者1名、照査技術者1名、及び担当技術者1名を配置する予定である。</p> <p>管理技術者は業務全体の統括を担当するが、技術士（機械部門）の資格を有し、技術士法に基づく登録を行っている者であることを確認した。</p> <p>担当技術者については、同じく技術士（機械部門）の資格を有し技術士法に基づく登録を行っている者であることを確認した。</p> <p>また、外部への再委託は予定されていないが、本業務仕様書でも定めるシミュレーションに係るパラメータ条件の確認として、大学教授へ依頼を行う体制を構築している。</p> <p>以上により業務遂行の上で必要な体制を整えていることを確認した。</p>
③ 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況	<p>手持ちの建設コンサルタント業務等は、管理技術者が6件、担当技術者6件（いずれも照査技術者として従事する業務は件数に含めていない。）と一定量あるものの、履行期間が終盤にかかっている案件もそれぞれ2件あり、本件業務上の履行にあたり手持ち業務量が過大であると見受けられる状況に無い。</p> <p>よって、業務実施体制として、履行に影響を生ずる手持ち業務等の状況に無いものと判断した。</p>
④ 手持ち機械等の状況	<p>本業務では、該当（測量業務及び地質調査業務）無し。</p>
⑤ 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した建設コンサルタント業務等の名称及び発注者	<p>主に高速道路会社が発注したトンネル付帯設備（換気・非常用施設等）の設計実績を提出書面により確認した。</p>
⑥ 経営内容	<p>調査対象者は高速道路会社等発注の業務を複数受注しており問題ない。</p>
⑦ 1から6までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>・調査対象者は高速道路会社からの業務受注経験を基に必要な直接原価、直接経費の計上を行い、かつその他原価や一般管理費等の間接費についても一定の計上を行っている。また、高速道路会社等が発注者としている同種・類似実績を持っていることを確認した。</p> <p>・履行体制においては、配置予定技術者は業務の遂行に必要な資格・実績を有し、技術力を備えていることから、業務内容に照らし妥当であると思慮される。</p> <p>以上より、これらを総合的に判断すると、調査基準価格を下回ったが、計上手法の違いによるもので、かつ十分な実績を基に効率的な業務実施が行えるとした結果であり、当該業務の履行がなされないおそれはないと思料される。</p>
⑧ 5の建設コンサルタント業務等の成績状況	<p>高速道路会社等において同種・類似業務の実績を有していることを確認した。</p>
⑨ 経営状況	<p>特に問題なし。</p>
⑩ 信用状況	
⑪ その他必要な事項	<p>特になし</p>